



中杉通り

アサガヤ



下井草一丁目～二丁目

阿佐谷北一丁目～六丁目

本天沼一丁目

阿佐谷南一丁目～三丁目

成田東一丁目～五丁目

成田西一丁目～三丁目

浜田山四丁目

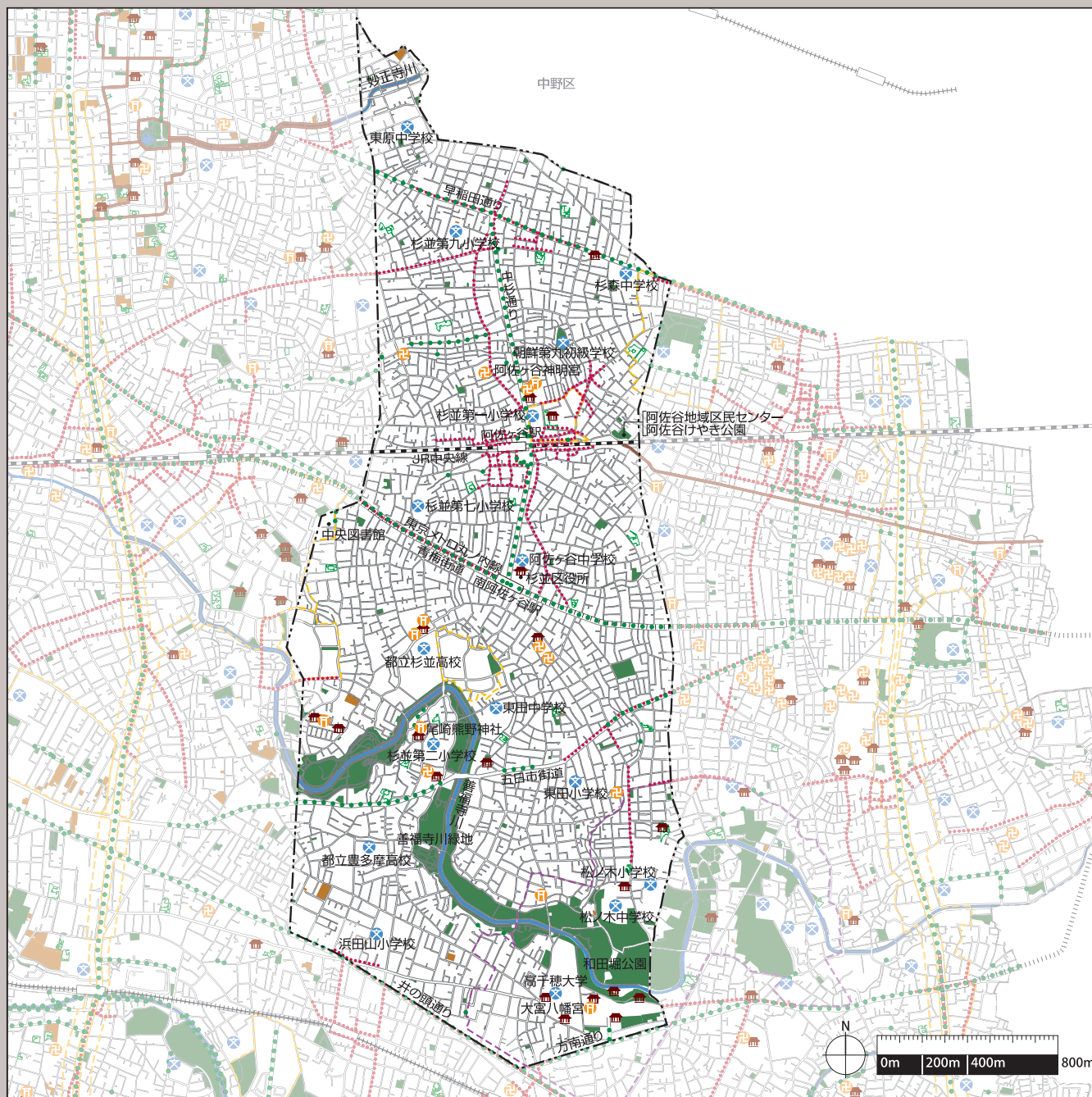
大宮二丁目

松ノ木一丁目～三丁目

梅里二丁目

阿佐谷

4 阿佐谷地域



凡例			
	公園・運動場等		街路樹
	河川、玉川上水		遊歩道・散歩みち
	農地		商店街
	屋敷林		寺社
	地区計画		文化財
	風致地区		学校施設

歴史

この地域は、江戸時代、北側は阿佐ヶ谷村、南側は成宗村や田端村であり、明治 22 年(1889 年)に高円寺村、馬橋村、阿佐ヶ谷村、天沼村、田端村、成宗村の 6 村が合併し、杉並村となりました。当時は青梅街道沿いに農地や雑木林に囲まれて農家が点在する農村地帯でした。

明治 22 年(1889 年)に甲武鉄道(現在の J R 中央線)が開通し、大正 11 年(1922 年)に阿佐ヶ谷駅が開設されました。また、大正 10 年(1921 年)に青梅街道に堀之内軌道(戦後の都電杉並線)が開通しました。

大正 12 年(1923 年)に起きた関東大震災後、住宅地として急速に発展し、大正 13 年(1924 年)に杉並町になりました。

用途地域*

早稲田通り、青梅街道、五日市街道及び中杉通り沿道などは、商業地域*及び近隣商業地域*です。その他の区域は、第一種低層住居専用地域*などです。

地域の北東側は、木造住宅が密集しているため、東京都建築安全条例による「新たな防火規制区域*」に指定されています。また、地域の南側は、土地区画整理事業を施行すべき区域*及び和田堀風致地区*となっています。

景観要素

生活的要素

地域の北側は、比較的小規模な住宅が密集しています。青梅街道の南側は、共同住宅や大規模・小規模の住宅が混在しています。浜田山周辺は、比較的ゆとりある土地利用が行われています。

阿佐ヶ谷駅、南阿佐ヶ谷駅周辺は、商業施設や飲食店のほか、区役所をはじめ多くの公共公益施設が集まり、にぎわいのあるまちなみが形成されています。

自然的要素

地域の北端を東西に妙正寺川が流れています。また、中杉通りのケヤキ並木は、多くの区民に愛着をもたれ、区のシンボルとなっています。

南側には善福寺川が流れており、大きく蛇行する川に沿って善福寺川緑地と和田堀公園が広がっています。

公共的要素

道路としては、東西に早稲田通り、青梅街道、五日市街道、井の頭通りが通っています。また、南北には無電柱化が完了した中杉通りが通っており、電柱や電線のないすっきりとした美しい景観に生まれ変わっています。

鉄道としては、中央を東西に J R 中央線が走り、阿佐ヶ谷駅があります。また、杉並区役所の隣には東京メトロ丸ノ内線南阿佐ヶ谷駅があります。

公共施設としては、令和 4 年(2022 年)3 月に、阿佐谷地域区民センターが移転し、隣接する阿佐ヶ谷けやき公園とともにリニューアルされ、屋上公園も新たにできたことから、より美しく、人々を楽しませる集いの場となっています。

また、阿佐ヶ谷駅北東地区において、防災性・安全性の向上と駅前にふさわしい都市機能の強化、阿佐谷の歴史を伝える景観づくり、みどりと住環境の調和したまちづくりを推進するため、平成 31 年(2019 年)3 月に「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画*」を策定、令和 2 年(2020 年)3 月には「東京都市計画阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画*」の都市計画決定を行いました。これに伴い、杉並第一小学校は、周辺地域とも調和した、子どもたちが輝ける学校として新たに整備されることとなりました。

文化的要素

地域の人たちの手で大切に続けられている「阿佐谷七夕まつり」や「阿佐谷ジャズストリート」などのイベントが開催されています。また、12 月上旬から 1 月下旬には、駅南口広場に大きくそびえたつアケボノスギにイルミネーションが灯され、季節の風物詩となっています。